

善福寺川周辺の樹木と野草

～～樹木シリーズ～～

林 静 (S45 経)

「こんな樹の花があるんだ」の第3弾として、善福寺川周辺に咲く結構身近に知っている樹の花をご紹介します。

一つ目は、「サルスベリ (百日紅)」です(写真1)。5月に、HP委員会からこの企画を承ってから、意識して、樹や花を見るようになりました。意外や意外、サルスベリの花は、善福寺川のあちこちに植えられているのですね。紅・白・紫と色とりどりの樹を各所で見るができます。サルスベリは、漢字で書くと百日紅。7月から9月にかけて「百日」近く咲き続けるのでこの名が付いたとのこと。では、白い花があるのにどうして「紅」なの?、という疑問を持ちませんか? ネットで調べてみると、もともとの花の色は「紅」だったので「百日紅」となったそうです。もう一つの疑問、本当に猿は滑るの?、についても調べてみました。実験の結果、猿はスルスルと樹を登ったそうです。

(写真1)



(写真2)



続いて、善福寺川でよくみられる樹の花に「エンジュ (槐)」があります。(写真2)のように、大きな樹に白い地味な花を樹の表面一杯に咲かせます。この大きな樹が、なんと「マメ科」とは驚きです。花をよく見ると、本当に豆の花のような小さい花です。秋には、枝豆を長くした様な長い実を沢山垂らします。葉っぱは、アカシアとよく似ています。よく似た樹に、ハリエンジュがありますが、これはニセアカシアといい、エンジュともアカシアとも別の樹です。夏から秋、皆さんも意識してみてください。

(写真3)

皆さんが良くご存じの「ムクゲ(槿)」(写真3)が、意外にたくさん植えられているのをご存知ですか?サルスベリに負けないぐらい各所に咲いています。色も、紫・白・ピンクと様々で、八重もあります。この花も8月を中心に咲いていますので、是非ご覧になってください。

(写真4)



最後に、この花(写真4)は、何でしょうか?花は知っているが名前は知らないという方が多いのでは?「ノウゼンカズラ (凌霄花)」です。尾崎橋のすぐそばに植えられています。鮮やかなオレンジ色の花がたくさんツル状に沢山垂れ下がっています。8月いっぱい、花を見ることができますよ!



さて、「善福寺川周辺の樹木と野草」の樹木シリーズ第1回をお届けしました。
如何でしたでしょうか。

10年余り前、善福寺川緑地を歩き始めたのをきっかけに、樹木や野草がとても好きになりました。散歩中に、樹にかけられた名札をメモリ、また草花の写真を写し、家に帰ってから図鑑で一つひとつ確認して名前を覚えるのがとても楽しみでした。

何回かにわたり「善福寺川周辺の樹木と野草」をお届けしたいと思います。
飽きずに読んでいただければ幸甚に存じます。

(つづく)